

歴史的事象の意味を広い視野から考える力を育てる指導の工夫 ー地域資料を織り交ぜた単元構成に「ぐんぐん歴史ファイル」を取り入れてー

長期研修員 阿久津 泰

社会科で求められている力と実際の児童の様子

《新学習指導要領 6年生の能力に関する目標》

各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的
事象の意味をより広い視野から考える力、調べ
たことや考えたことを表現する力を育てる。

《群馬県教育振興基本計画》

地域にある学習素材を生かし、
地域ごとに特色あるふるさと学習を実施する。

《群馬県学校教育の指針》

複数の資料を比較・関連させ、事象のもつ特色や意味を
考察させる場を設ける。

小学校6年生の歴史の学習において大切なことは、資料の有効な活用のもと
で、「歴史的事象の意味を考える力」を育てることである。

地域資料を積極的に生かし、広い視野からの考察を促す社会科授業の工夫・改善が必要。

歴史的事象の
一部分だけを限定的
にとらえてしまう。

歴史的事象は
自分とは無関係なもの
とらえてしまう。

様々な情報から、児童が自分との関連や歴史の意味を考えら
れるような単元構成と、学習内容がより分かりやすくなるよう
な教材を工夫し、考える力を育てる歴史の授業を展開します。

歴史的事象の意味を広い視野から考える力が育てるための手だて

歴史的事象の意味を
広い視野から考える力の育成

【手だて1】
地域資料を織り交ぜた
単元構成

【手だて2】
「ぐんぐん歴史ファイル」
の活用

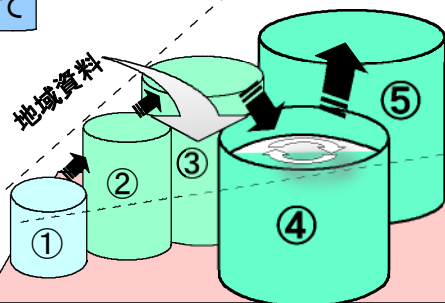
小学校社会科の
課題解決的な学習

歴史的事象の意味を
広い視野から考える力
とは…

住んでいる地域
や現代の生活と
のかかわりも含
めて、時代の特
徴を大きくとら
える力。



単元構成図



過 程		主 な 活 動
追 究 す る	つかむ	① 資料を基に共通の学習課題をもつ
	情報整理	② 資料からの情報を整理・分析し歴史的事象の特色を明らかにする
	比較・関連付け	③ 歴史的事象の特色や事象間の関連を関連図に表して考える
ま と め る	総合・再構成	④ 交流で得た新たな情報を基に再度関連図に表して改めて考える
	論 述	⑤ 自分なりの考えを論述する

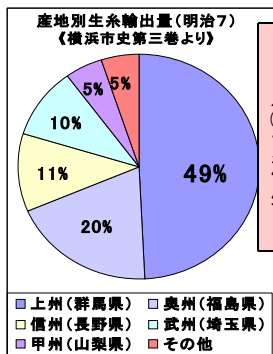
具体的な手だて

授業の実際(つかむ～追究する)

授業の実際(まとめる) 成果と課題

地域資料を織り交ぜた単元構成

「つかむ」「追究する」「まとめる」という課題解決的な学習の過程を、さらに細かく5段階構成とし、各過程の学習に地域資料を補助資料として織り交ぜる。そのことによって、事象の特色を自分とのかかわりから追究し、視点を変えて意味を考える手だてとする。このような資料は、ワークシートに印刷したり、「ゆたかな資料集」に掲載したりする。



例ア
生糸の輸出
(②で活用)



例ウ
戦争凱旋碑
(②で活用)



例オ
桐生織物標本
(④で活用)



例イ
桐生明治館
(①で活用)



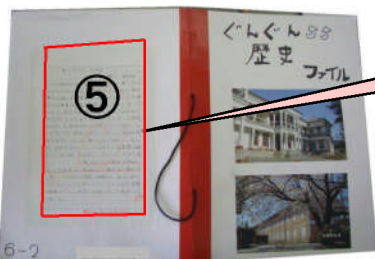
例エ
明治の鉄道
(②で活用)

「ゆたかな資料集」とは…

教科書などに載っていない資料(主に地域資料)などを集め、印刷・製本したもの

「ぐんぐん歴史ファイル」

各学習過程のワークシートや主な活用資料を、見開き状の厚紙(A3×2)に貼り合わせていく形式の学習ファイル。単元全ての学習内容が一度に目に入るように工夫し、すべての学習で活用する。左下に資料の手引き、右欄外に地図や年表をあらかじめ添付し、充実した思考活動の展開を目指す。



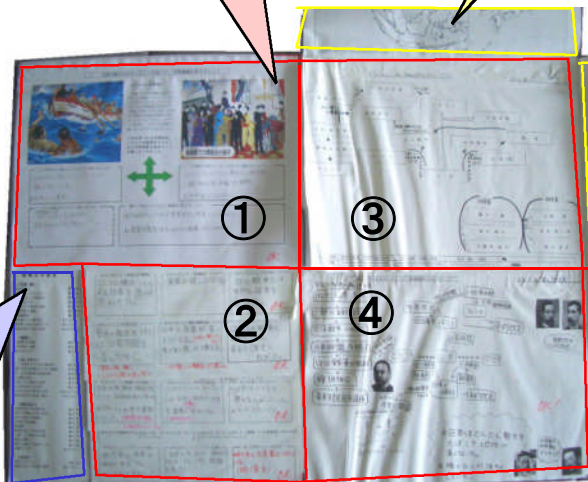
⑤のワークシート(論述)

①～④までのワークシート
(課題把握～総合・再構成)



資料の手引き(一部抜粋)

【写真・絵】	
日清・日露戦争の比較	資P79
地域に残る当時の写真	ゆたかP2
【地図】	
日清戦争の戦場	教P94
領土の広がり	教P96
【表・グラフ】	
二つの戦争での戦死者	教P94
日本を支えた群馬生糸	ゆたかP3.4
【読みもの】	
陸奥宗光と小村寿太郎	資P78
女子工員の一日常	資P80
【年表】	
年表でクニニ!	資P81
条約改正の交渉の歴史	ゆたかP1



明治時代の主な出来事の年表(一部抜粋)

年号	主な出来事
1854年	江戸幕府が開国する
1858年	修好通商条約 ※治外法権を認める ※関税自主権がない
1868年	明治維新
(明治元年)	※年号が「明治」になる
1871年	ヨーロッパに便所団
(明治4年)	※条約改正失敗
1883年	鹿島館が完成
(明治16年)	※舞踏会などが開かれる
1886年	ノルマントン号事件
(明治18年)	※その後何度も改正に失敗
1889年	大日本帝国憲法発布
(明治22年)	※アジア初の憲法
1894年	陸奥宗光がイギリスとの条約
(明治27年)	一部を改正
...	日清戦争が始まる(～95)

追究する（比較・関連付け）

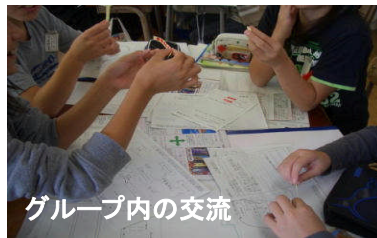
児童Bの例

```
graph TD; A[陸奥 宗光] <--> B[小村 寿太郎]; B --> C[イサムトマン号事件]; C --> D[開港自主権]; C --> E[治外法権]; D --> F[条約改正]; F --> G[日英同盟]; G <--> H[イギリス]; E --> I[ロシア]; I --> J[日ロ戦争]; J --> K[朝鮮]; K --> L[日清戦争]; L --> M[中国(清)]; M --> N[日本]; N <--> G;
```

主な活動の様子

児童の思考の流れ

まとめる(総合・再構成)



グループ内の交流



全体での交流



教育資料室長との交流

【グループ内の相互評価】

わかりやすい 関連図である	● ● ● ● ●
テーマや工夫が 内容に合っている	● ● ● ● ●

【参考にしたいタイトル】

【勢力をのばした日本】

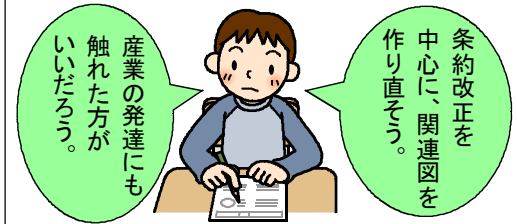
【修正したいところ】

わかりやすいように、よぶんな所はなくして、
必要なものと大事なとだけにする。

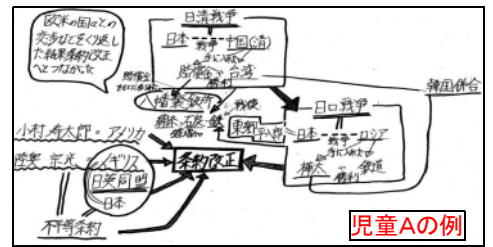
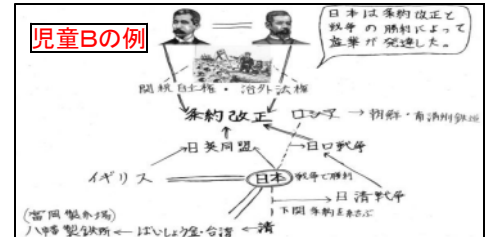
【キーワードを使った短い説明】

キーワード	勢力をのばした日本
キーワードを使った 短い説明	日本は初め、不平等条約で苦し ましたが、そのうち様々な人々の活 やくや、出立により条約改正を 成しとげました。初めの頃より、 勢力をたくさん伸ばした日本 です。
参考になる資料	教科書や資料集

児童Cの例

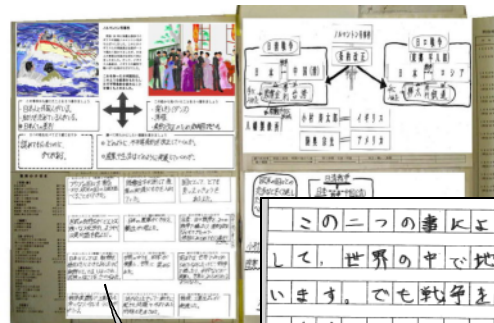


児童Bの例



児童Aの例

まとめる(論述)



指定された文字数
(400字以内)自分な
りの考えを文章で表
現する。

この二つの事によって、産業が発達
して、世界の中で地位や国が要になったと思
います。でも戦争をしてまでも領土や工業力
を注ぐのはよくないと思いました。でも、
戦争や条約改正などせながら、今のよう
な平和な暮らしがなかったし、外国の仲間入
り出来たことができなかったと思います。

児童Bの例 ※一部抜粋



成果

課題

地域資料について

- 歴史的事象の意味を常に足元から考えることができた。
- 今日の生活は歴史の上に成り立っているということに気付くことができた。
- 国と地域、明治期と現代とのつながりを具体的にとらえることができた。

「ぐんぐん歴史ファイル」について

- 自分の考えをファイルに積み重ねていく意識が高まった。
- 関連付けて考えを高める上で大いに役立った。
- ファイルを吟味することで自分なりの考えをもつことができた。

地域資料について

- 特殊性が強い事象もあるので、資料として扱う際には吟味・精選する必要がある。
- 郷土愛や先人への思いだけに意識が向いてしまわぬような資料提示の方法や資料活用場面を考慮しなければならない。

「ぐんぐん歴史ファイル」について

- ファイルに頼らず自力で考える時間も充実させたい。
- 一つ一つの意味をより深く考えるための有効なファイルの活用方法を改善・工夫していく必要がある。

問い合わせ先

群馬県総合教育センター

担当係 義務教育研究係 0270-26-9213(直通)